

地域公共劇場連携事業

りすん

クリエイションツアー

出演者 募集!!

芥川賞作家・諏訪哲史×奇才・天野天街の伝説の作品が13年ぶりに復活



撮影:羽鳥直志

2010年、名古屋を代表する小劇場[七ツ寺共同スタジオ]のプロデュース公演として上演された『りすん』。デビュー作『アサッテの人』で第137回芥川賞を受賞した作家・諏訪哲史の同名長編小説を、同じ愛知県出身の天野天街(少年王者館主宰)が舞台作品にしたアノ名作が蘇ります。リクリエーションにあたっては、新たにメインキャストとなる兄・妹役を募集。出演者オーディションを開催し、三重・名古屋・高知の三都市ツアーを開催します。皆様からのご応募をお待ちしております。

■あらすじ

「お兄ちゃん、私たちどうしたら小説の外へ出られるの？」

骨髄癌におかされて長期入院中の少女と、彼女と兄妹同然に育った青年の病室での会話。中国旅行の思い出や少女の母親のこと、ヘンテコな言葉遊び—2人のやりとりが同じ病室の女性患者によって書かれた物語であったなら……。



脚色・演出 天野天街

劇作家、演出家、少年王者館主宰。1960年愛知県一宮市生まれ。1982年少年王者館旗揚げ、名古屋を拠点として全国的に活躍。演劇、ダンス、人形劇、コンサート、ファッションショー等幅広いジャンルの舞台演出を多数手がける傍ら、漫画執筆、デザイン・ワーク、エッセイ等の分野でも活躍。1998年より演劇ユニット『KUDAN Project』を始動、海外公演を開始する。主な演出作品に『御姉妹』『高丘親王航海記』『百人芝居◎真夜中の弥次さん喜多さん』、映画作品に『トワイライツ』がある。



原作 諏訪哲史

小説家。1969年名古屋市生まれ。名古屋西高校、國學院大學文学部哲学科卒業。独文学者種村季弘に師事。2007年に小説『アサッテの人』で群像新人文学賞・芥川賞を受賞。他に小説『りすん』『ロンバルディア遠景』『領土』『岩塩の女王』、エッセー集に『スワ氏文集(もんじゅう)』『うたかたの日々』『スットン経』、文学批評集に『偏愛蔵書室』『紋章と時間』がある。東海学園大学人文学部客員教授。2022年から名古屋駅の名鉄カルチャースクールで毎月第3土曜日に文学講座(常時入会可)を開講中。

[オーディション日時] **4月8日[土], 9日[日]** 両日共13:00~19:00 *左記時間内で調整します

[会場]

演劇練習館アクテノン4階
大練習室 (名古屋市中村区稲葉地町1丁目47番地)

[参加費]

無料

[募集する役] 主要キャスト2名(兄・妹)

*原作では兄:大学生との記載がありますが、
兄妹双方とも、俳優の実年齢は問いません。

[対象]

年齢・国籍不問／右記スケジュールに参加可能な方

*稽古場所は全て演劇練習館アクテノンです。
*出演料のお支払い有(金額は実績等を考慮し、ご相談のうえ決定します)
*稽古期間の交通費・滞在費等については、ご自身のご負担となりますので、ご了承ください。

[申込方法]

裏面の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、いずれかの方法でお申込みください。
(申込用紙は会館WEBサイトからもダウンロードいただけます。)

【MAIL】 kenbun@center-mie.or.jp

*件名を「りすん出演者オーディション」と明記ください。

【郵送】 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234

三重県文化会館「りすん」出演者オーディション係 宛

[申込締切]

3月21日[火祝] *書類選考のうえ、3月26日[日]までにメールにて結果をお知らせします。

[お問い合わせ] 三重県文化会館 事業課演劇事業係 TEL059-233-1100(10:00~17:00) / 月曜または月祝翌平日休館)